

主婦+アーティスト+職人の切磋琢磨が
暮らす側に立った美しいエクステリアを生み出す

この世界に入る前は、専業主婦でした。10年ほど前、自宅を新築したんですが、建て終わってからいろいろと不満が出てきたのです。とくにエクステリアはイメージがわきにくく、素人にはわからない部分が多いと実感。それをきっかけにエクステリアに興味を持ちました。そのうち自分で提案したいと思うようになり、その折に素晴らしいプランとの出会いがありました。センスあふれる設計をする芸術家肌の海谷、誠実な施工を行う職人気質の三浦。そんな彼らと、2年前に会社を設立したのです。

当社は、会社というより1人1人個性が高いプロ集団です。設計は海谷、その図面を描くのは荻野と鈴木、施工は三浦に一任し、それぞれ質の高い仕事をしながら、ひとつのものにまとめ上げていくのです。

プロは時として独りよがりの提案をすることもありますが。そんな時に私は、生活者の目で、「それじゃ使いにくそう」などとモノ申し、お客様の不満や不安を代弁するようにしています。とにかく「私を十分に納得させたものでない」と、シビアにプランをチェックします。もちろんお客様との話し合いは可能な限り駆け、ご要望やライフスタイルを聞くだけでなく、こちらからも素材の知識とか、どうこういう価格になるのかなど、一般の方にはわかりにくいことをきちんと説明して納得していただいています。これらは私の家づくりの苦い経験から来ているのです。

商圏は埼玉県全域で、実績は現在月に20棟前後です。ハウスメーカーからの紹介が中心ですが、個人のお客様を増やしていこうと、このほど事務所の一部を改装してお店にしました。ここに「エクステリア相談室」を設け、キメ細かい相談に乗りながら、よろしかったら工事も請けますよ。と。そして、これからも、プロの誇りをもって、押し付けや独りよがりでない、「お客様の予算の中で100%実現できる提案」をしていきたいと思っています。

■遊び心を大切に、低コストの工夫も

統括・海谷繁樹様のお話

「新しい発想、新しいニーズで「遊び心」をもってデザインする……プロとしてそこにこだわっています。また、お金をかければいいものができるのは当たり前ですが、素材や施工の工夫で、より低コストでいいものをつくり出していきたいですね」



取締役社長・井上佳子様



スタッフはチームワーク抜群。左から三浦忠雄様、井上渉様、井上佳子様、鈴木由紀乃様、荻野真理様。

K. J様邸

お客様から「海谷さんを信頼してお任せします」と言われたプラン。基本はオープン外構ですが、塀の素材や高さを変えることで、見せる部分と隠す部分を分けて、左側の駐車場は楽しく開放的に、右側の芝生の庭はややくローズな落ち着いた雰囲気になっています。また、駐車場の裏には小さな和のスペースを設け、この庭づくりはお客様に一任。「お客様が自分でいじれるところを残しておくことも、庭を長く愛してもらおうコツです」



【アプローチで左右を仕切る】
手前は駐車場、奥は芝生の庭。その間をアプローチが通り、広さを損なうことなく2つの空間を仕切っています。

【外観全景】
素材や色使いに建物との一体感がある。シンプルなおープン外構。シンボルツリーがさりげなく目隠しの役目も果たしています。



【外観全景】
建物がシンプルなので、エクステリアに暖かみや遊び心をプラスして楽しい印象。



【和のスペース】
駐車場の後ろの和の庭は、お客様が自分でつくったもの。ご主人は庭いじりが趣味になり、家に帰るのが楽しみになったそうです。



【玄関から門へ】
アプローチをくねくねと曲げ、門を斜めに配置することで、狭い空間を広く長く感じさせてくれます。



【駐車場の床】
天然石流りに見えますが、実はコンクリートを敷き、手で目地を彫ったもの。低コストで、スタンプよりはるかに見栄えする仕上がりです。



【天然素材でやさしく】
レンガ、天然石の乱張り、木調の手すり「エトランポ」など、ナチュラルでやさしいアプローチが印象的。階段は設計では6段だったのを、上りやすさを配慮して現場で7段に。

【円形の階段アプローチ】
高低差を上手にとって、たっぷりとした、円形の階段を設置。どの方向からも上がれて楽しく、切いお子さんも大喜びだそうです。

K. N様邸

ここも基本は「お任せ」でした。敷地に高低差がかなりあるため、その処理をどうするかポイントに、「上り下りをスムーズにするために、設計時よりもステップの段数を1段多くしました」（施工担当・三浦様談）。こうした現場のキメ細かい施工が、住みやすさにつながります。手すりには「エトランポ」、脇の入り口の伸縮門扉には「エアリーナ」が採用されています。

